

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年8月2日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県草津市若竹町9番24号
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
大五産業株式会社
代表取締役 権田 五雄
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	大五産業株式会社 代表取締役 権田 五雄
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県草津市若竹町9番24号

1 事業者の概要

事業所の名称	大五産業株式会社 馬場リサイクル工場								
事業所の所在地	滋賀県草津市馬場町1200-23								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	8	1	5	※ 産業分類・細分類名称を記載 ごみ収集運搬業			
事業の概要	一般廃棄物の収集運搬処理/産業廃棄物の収集運搬処理/浄化槽清掃、維持管理/ 下水道工事一式/計量証明事業								
従業員の数	8人			操業時間		8時間/日			
該当する事業者 の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	☒ 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	台		熱源設備	台		照明設備	29台	
	コンプレッサ	台		空気調和設備	2台		その他	溶融設備 1台 処理設備 1台 リフト 1台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和4 年度	報告対象年度	令和5 年度
	終了 年度	令和5 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

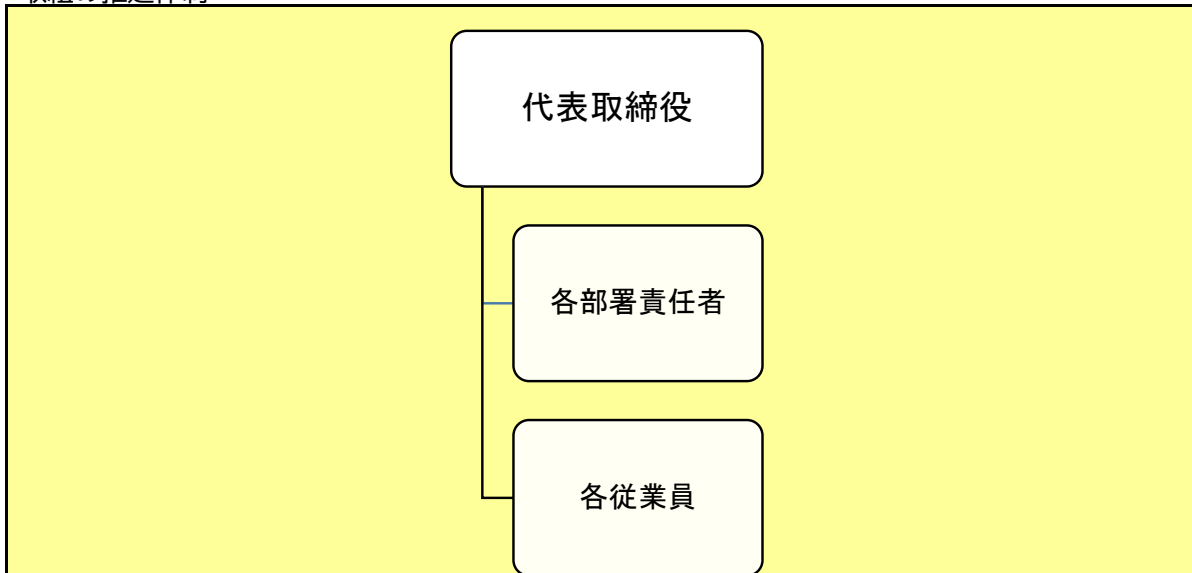
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

大五産業株式会社は、ISO14001取得の環境方針のもと環境負荷の低減とCO₂ネットゼロ社会づくりを進めていきます。

環境方針

- 1.事業活動において生じる環境への負荷を抑制するために、環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的改善を図り維持する。
- 2.環境保全活動を適正に実施するために、環境に関連する法令・条例及び当グループが同意する業界基準の要求事項を順守する。
- 3.事業活動にあたって、資源およびエネルギーの有限性を深く認識し、それらを効率的に利用・節約およびリサイクルに積極的に取り組み、環境負荷の低減と環境汚染の予防に努めます。
- 4.社員一人々が環境保全活動の重要性を自覚し、社員全員で組織化し継続的に取り組み、常に意識と知識の向上に務める。具体的には下記の事項を実施する。また、取引業者に対しても理解と協力を求める。
①省エネルギー・省資源化の推進
②再生資源の使用拡大
- 5.この環境方針は文書化し、利害関係者並びに組織で働くまたは、組織のために働くすべての人に周知すると共に広く公表する。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

・照明の不要時の消灯の徹底

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	空調温度設定緩和による省エネ	令和4年度～	令和4年度から実施中
2	運用改善	室外機フィンコイル汚れ除去による省エネ	令和4年度～	令和4年度から実施中
3	設備導入	照明設備を最新高効率設備へ更新	令和4年度	令和4年度実施済
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
基準年度(令和3年度)と比較して、計画終了時(令和5年度)に以下目標数値の達成を目指す。尚、令和4年度の報告は途中経過報告とする。 ①電力使用量:基準年度から40,000kwh削減 ②CO₂排出量:基準年度から15t-CO₂削減 ※実績を目標と適切に対比させるために、計画期間中の温室効果ガス排出量の算定は、令和3年度(0.362kg-CO₂/kwh 関西電力調整前)の係数を固定して計算する。	【結果】 ①電力使用量:20,491kwh削減 ②CO₂排出量:6t-CO₂削減 →引き続き、省エネ対策に取り組んでいく

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(4)年度	(5)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	26	24	21			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	44	37	38			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	44	37	38			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。